

漁海況情報第5報 (2016年8月5日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

宮城県沖 141° 50' E 以東の水温が表面、100m深とも高めとなっている。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は、20～26℃台となっています。平年と比較すると、仙台湾は1～3℃高め、金華山沖は141° 50' E 以東の沖合で1～4℃高めとなっており、特に黒潮系北上暖水の波及を強く受けている38° 30' Nラインと38° Nラインで3～4℃高い範囲が広がっています。

100m深水温は8～14℃台となっています。平年と比較すると、141° 50' E 以東で2～5℃高めとなっており、表面同様、38° 30' Nラインと38° Nラインで3～5℃高い範囲が広がっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、表層付近の水温が前月よりもさらに上昇しています [P2.水温鉛直断面図]。

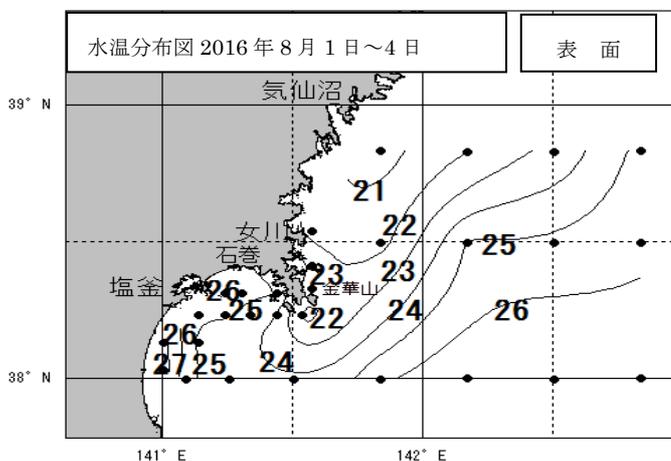
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、黒潮系の北上暖水の勢力が増しています。

[P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

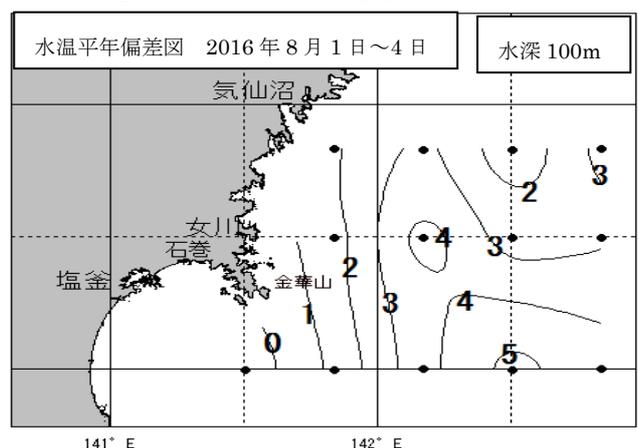
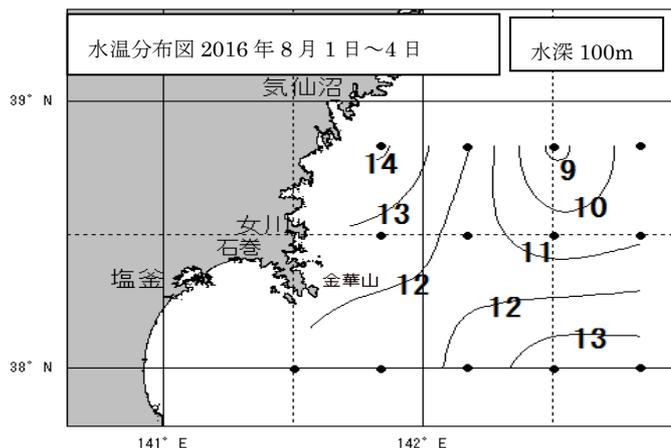
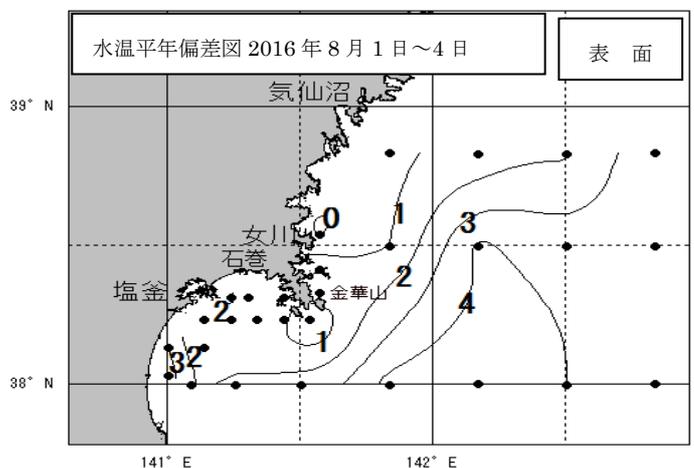
7月下旬の定地水温は20～25℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼で1.1℃高め、江島は2℃高め、佐須浜は平年並みとなっています。桂島は前年より-1.6℃低め、亶理は前年並みとなっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、8～16℃台となっており、前年並みです [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

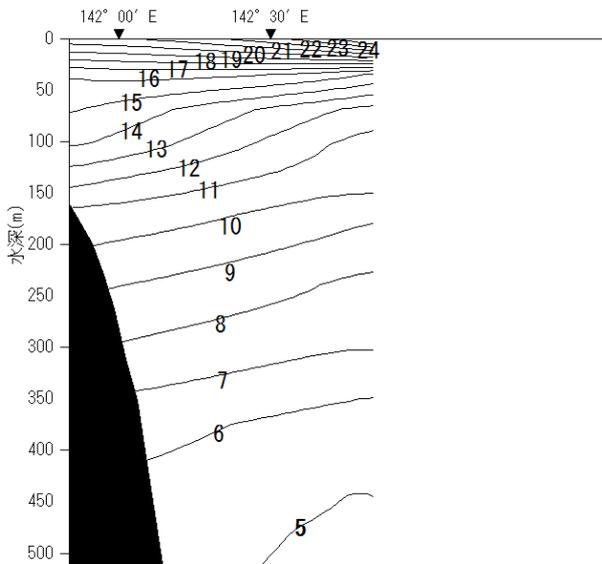


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

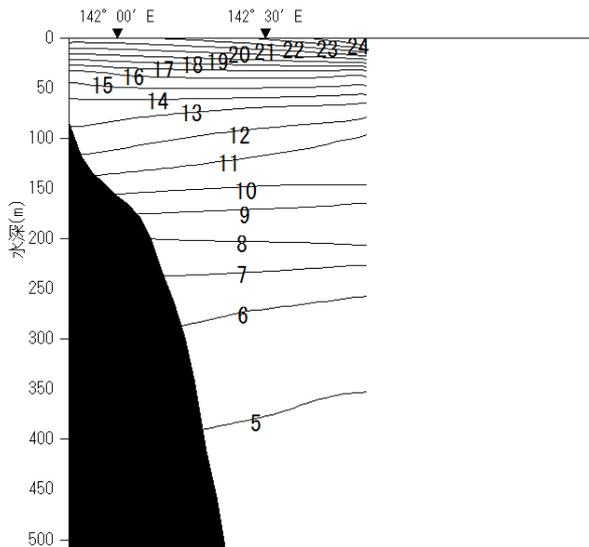


・水温鉛直断面図

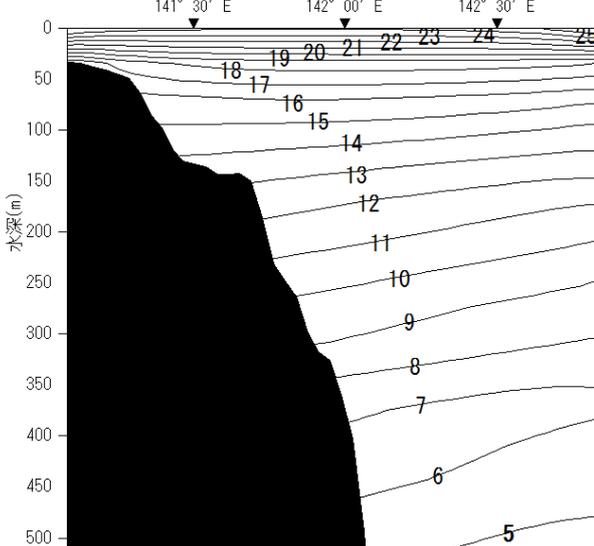
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)

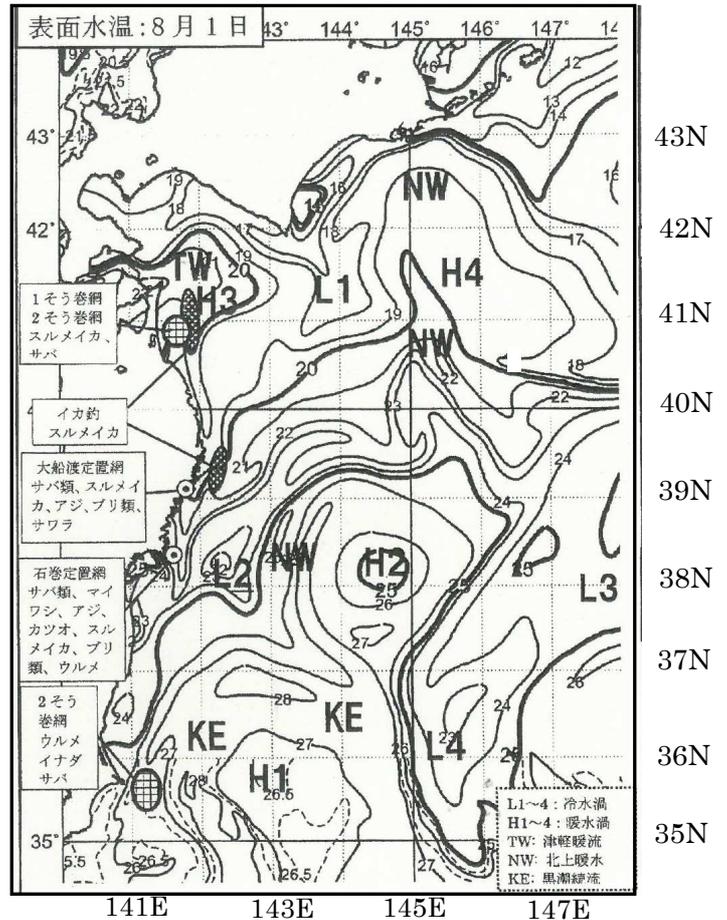


38° Nライン(亶理沖合ライン)



2016年8月1日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

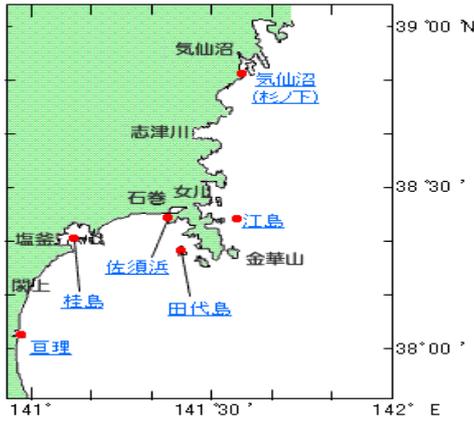
【海況】(8月1日表面水温)

- ・津軽暖流 (TW : 20~21℃台) と黒潮系北上暖水 (18~23℃台) が勢いを増し、下北沖暖流渦 (H3) と釧路沖暖水渦 (H4) は勢力拡大。
- ・混合水は 18~21℃台が下北~金華山周辺に分布し、北上暖水と潮境を形成。
- ・黒潮 (KE : 27~28℃台) はさらに増強し、犬吠埼東 30 海里を北上、いわき沖から蛇行して東進。
- ・24~27℃台の暖水が宮古沖まで北上。
- ・房総~常磐に 24~25℃台、福島~仙台湾に 23℃台の暖水が接岸。

【漁況】(7月29日~8月1日)

- ・まき網：八戸沖でサバと混じりを漁獲、混じり 457 トン中、スルメイカは 228 トン。
- ・定置網：田代島定置網中心にカツオが入網、8月2日には大船渡にも入網。
- ・カツオ竿釣：福島~宮城近海を主漁場にカツオを漁獲。
- ・カツオ・マグロまき網：茨城~宮城近海でキハダとカツオを漁獲。
- ・スルメイカ釣り：三沢と八戸が好調。

・定地海洋観測



観測点	7月下旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	20.2℃ やや高め	1.1℃	-0.9℃
江島	20.6℃ 高め	2.0℃	0.5℃
佐須浜	23.4℃ 平年並	0.5℃	-2.3℃
桂島	25.3℃ -	-	-1.6℃
巨理	24.3℃ -	-	-0.1℃

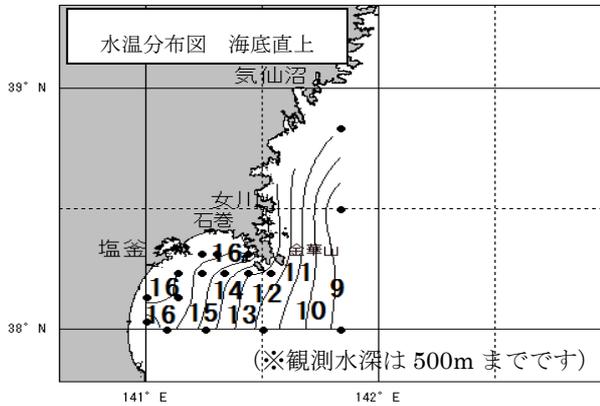
※田代島と佐須浜は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差
 岩井崎 (30年)
 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

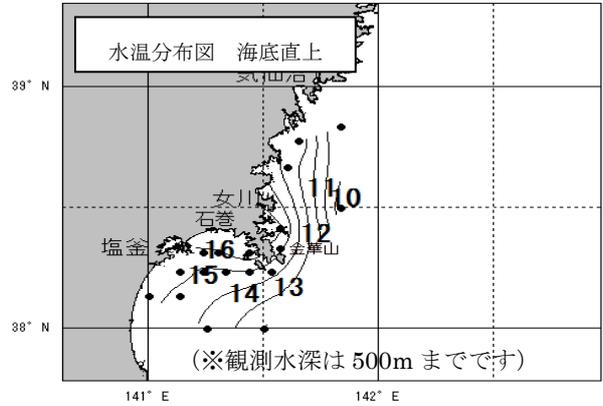
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html> でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2016年8月1日~4日)

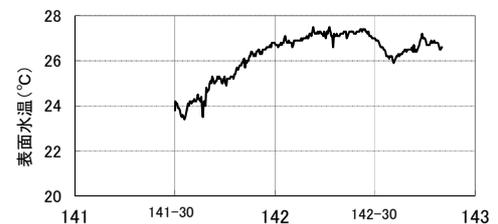
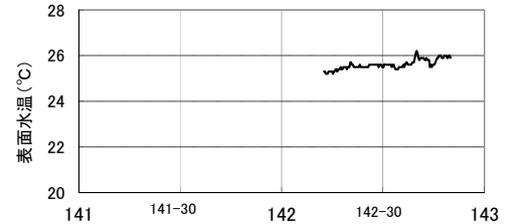
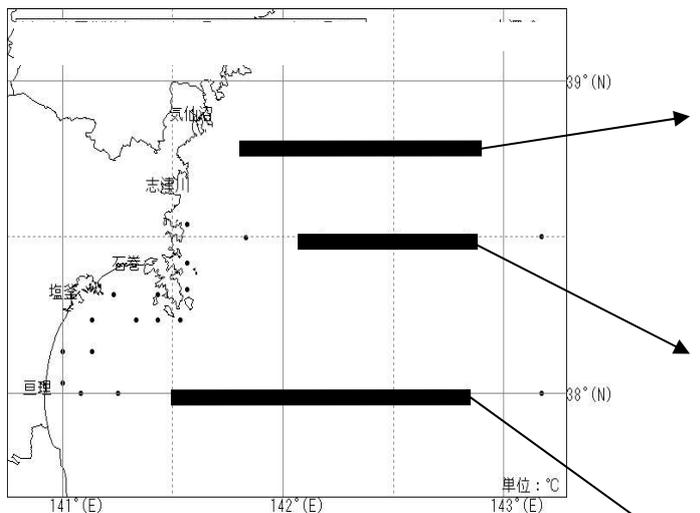


・海底直上水温(2015年8月3日~4日)



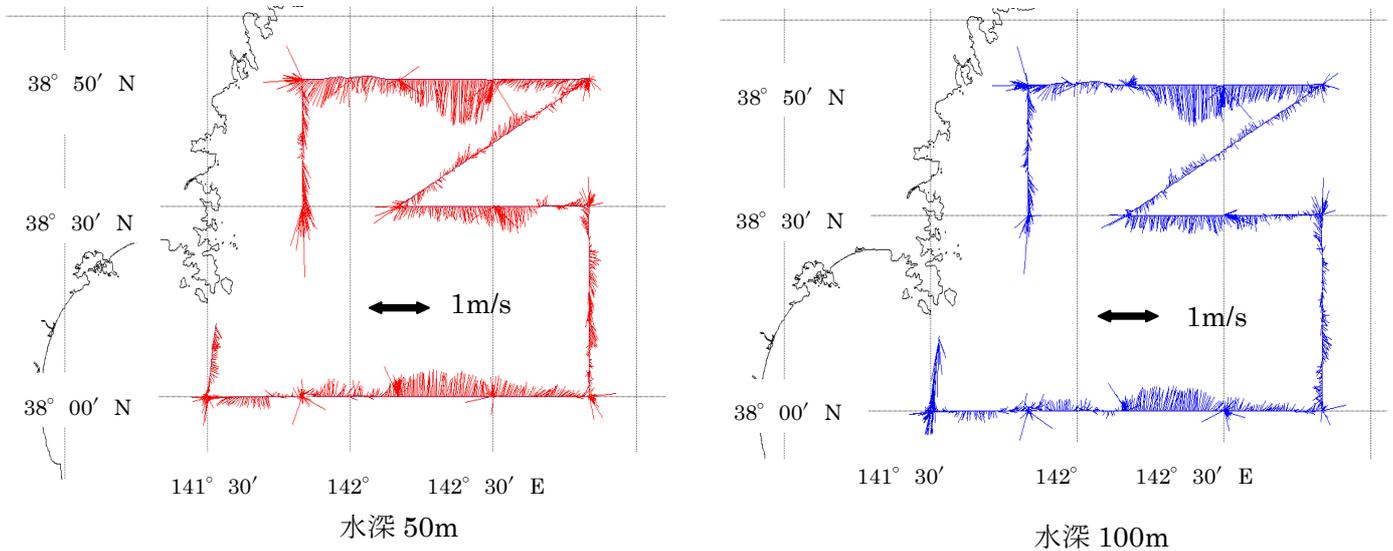
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。38° 50' N ラインと 38° 30' N ラインは概ね南向きの流れ、38° N ラインは概ね北向きの流れが観測されました。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 28 年 7 月の水揚量を見ると、昨年同月比でキハダ、カナガシラ、マイワシ、スルメイカ、ミズダコ、ガザミなどの水揚げが特に増加（前年比 1.5 倍以上）しています。一方、カツオ、ビンナガ、カタクチイワシ、ブリ、ヒラメ、マガレイなどの水揚げが減少しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年7月1日~7月31日)

単位:トン

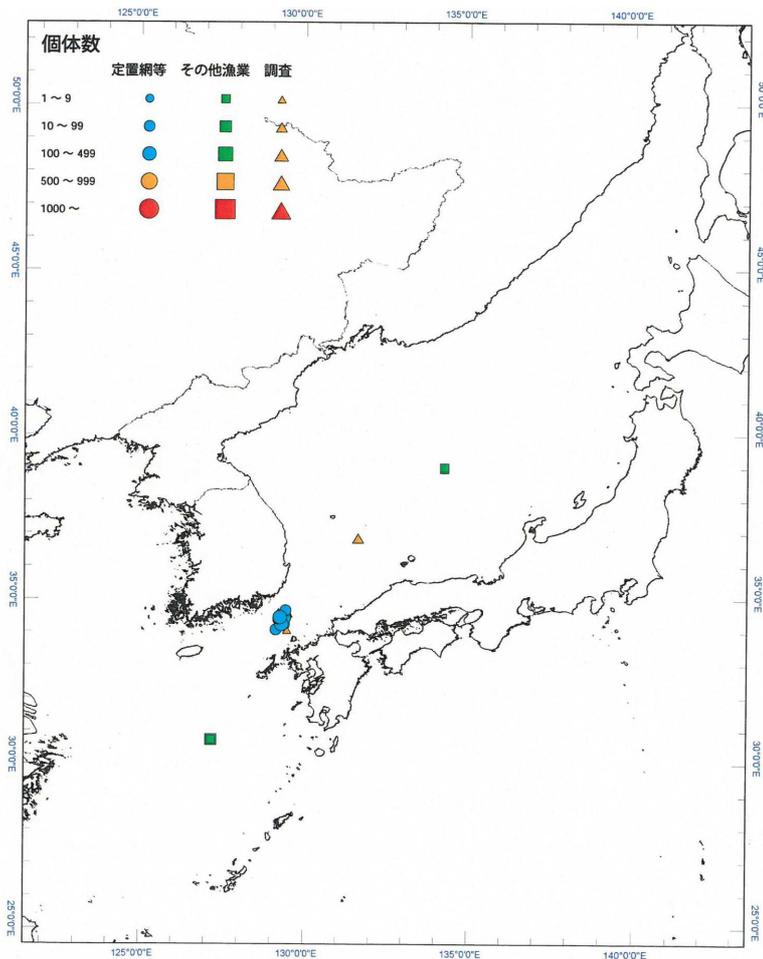
魚種	沖底	小底	旋網	定置網	大目流し網	刺網全漁法	延縄	一本釣り	その他	総計	前年比(%)
カツオ			3,346		8		0	4,291	3	7,648	47
クロマグロ(メジ含む)			226	4	4		1		0	235	119
ビンナガ			46				97	1,671	0	1,814	30
メバチ(ダルマ含む)			22		0		3	109	8	142	114
キハダ(キメジ含む)			299	0	6		6	110	1	423	221
マイワシ		0	2,472	473					27	2,972	152
カタクチイワシ				73					1	73	51
サバ類			610	2,042		0			67	2,719	96
マアジ		17	10	200		0			6	234	132
ブリ		0		100		0			8	108	37
スルメイカ		1		38					4	43	160
カナガシラ		32		5		0			1	38	203
ヒラメ		42		4		77			33	157	71
マコガレイ		64		0		7			7	78	105
マガレイ		5				0			0	5	38
ミズダコ		9		0		81			80	171	168
ガザミ		3		0		53			35	91	158

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 大型クラゲ情報

(一社)漁業情報サービスセンターによると(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>), 今年は6月下旬から7月上旬に対馬で定置網への入網が確認され, 8月上旬現在, 対馬では大量入網が続いています。最先端は福井県, 石川県まで北上しており, 同センターでは九州, 山陰, 青森, 秋田にかけて注意を呼びかけています。現在のところ, 全国的に被害が大きかった2009年のような大量の来遊ではないと予想されていますが, 今年は本県へのまとまった来遊の可能性が出てきました。



漁業情報サービスセンター (2016年8月3日現在)

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/2016/data/20160803map2.pdf>)

6. 調査船運航計画

みやしお	
8月17日～8月18日	スルメイカー斉調査
8月25日～8月26日	底曳調査
開洋	
8月17日～8月18日	マアナゴ漁獲調査
8月19日	ヒラメ新規加入量調査
8月22日	アカガイ資源状況調査